

採れたて!!

わかごぼうのニュース

No.25

発行 2016年4月
八尾市パーソナルサポートセンター
大阪府八尾市本町 1-4-201
TEL:072-999-7900

チラシ制作始まりました

今年度のわかごぼうチラシを自分たちで作ってみることにしました。共作初めて同士でチームを結成してスケジュールを組みましたが相方が来ない可能性もあるのではなくとも制作段階は一人でもできるようにデザインテーマのすり合わせを入念に行いました。

最初のサンプル紙面ができたところでテキストが届いたのですが思っていたよりも文章量があつて構想していたデザインの修正をすることにになりました。最初にテキストの確認をしておけば良かったですね。



チームで制作に没頭するにあつという間に時間が経ちました。新しいキャラクター候補もたくさん描きました。特にわかごぼうモチーフのキャラクターは「可愛さ」重視だと「らしさ」が薄れ、「らしさ」を前面に出すと「可愛さ」が消えるので、両立するバランスを取るのにも苦労しました。本当に泣きそうでした。苦労といえば他にも、レイアウト変更に伴う手書き文字のサイズ変更や制作環境の違いで実際の色味がずれるなど、予想外のつまずきがあるたびにやる気が削がれて思考が止まり、心が折れそうになりました。しかし、それでも完成させたかったのでまた取り組むことができました。印刷の仕上がりが今から楽しみです。

色々準備中です。しばしお待ちを。



わかごぼうは

失敗できる場所

家とは違う場所へ出かけた。でもいきなりは不安。お話できなくても一緒に過ごしてみよう。失敗しても構いません。そこからたくさんのことを学べるから。

農園部、準備万端整えて

冬野菜を撤去してから、畑面積を計測しました。春夏野菜をイメージして畝の図面を描き、丁寧に天地返ししてから堆肥を施しました。あとは気温を測りながら種をまくのを待つばかりです。

ようやく、こなれてきた感じですね。



まあ、アクシデントもあるけどな



八尾市社会的居場所事業

わかごぼうに 来ませんか？

☆参加対象になる方
「自分なりの社会参加の実現を考えたい」と望まれる方で次のうちひとつでも当てはまる方
◇6ヶ月程度、就労や訓練・試験勉強等から遠ざかっている自分を変えたい方
◇少人数の会話から話すことに慣れて自信を持ちたい方
◇行動範囲を広げるきっかけや家族以外の人と接点を持ちたいと望まれる方
※また、家族・親族のことでお悩みのある方もご相談いただけます。（ご予約下さい。）



開催時間：毎週木曜日13:00-15:00
開催場所：わかごぼう
八尾市南本町7-6-23
※JR八尾駅から徒歩15分なので自転車推奨

お問い合わせ & 参加申込み
電話：072-992-6921
✉ : wakagobou@yaops.jp
電話受付時間：10:00-17:00 (祝日除く月~金)

自分のペースで参加できます。



ウニもめるよ

撮る側になって気付いた事

普段は撮られる側の自分たち。撮ったりするのに興味があったのでカメラを撮る側に回ってみました。



- ・写真を撮るタイミングが簡単なようで難しかった。
- ・どの角度から撮ったら撮られている人の最高の表情や躍動感などを表現できるか考えるのが楽しかった。
- ・カメラで写す側になって分かったのはタイミングと被写体の人物が一番うまく

撮れる場所の位置取りが難しいということ。慣れてきたら感覚というか、フィーリングでわかってくるような気もしました。

- ・カメラに映っている自分と鏡で見ると自分の自分とは違う。こういう自分をいつも他の人は見ているのかも。でも、こつちの方が寧ろ自分なのかと思いました。
- ・何回が使ったカメラでも設定がいつもと違うとかなり不安になる。しかも詳しい人がその場にいらないことが大半なので、ちよつと機械に詳しくなりたいたいと思いました。

- ・どんなイベントでも撮影係は大事なポジション。大事な場面を取り逃し「機械オンチだから」なんて言い訳は通じない。
- ・大事なシャッターチャンスを逃さないようにしたい。

わかごぼうニュース編集

わかごぼうでは、毎月参加者が企画した活動内容を参加者自身でコンテンツにしたニュースを編集して発信しています。



是非次号もご覧ください

とある企画の打ち合わせで



新年度突入に合わせて自分の事や仲間の事を知るツールとして「取扱説明書」を作ろうという意見が出ました。早速、作成チームが編成されます。1回目の打ち合わせで項目について意見交換が行われ、項目候補がまとまりました。2回目の打ち合わせでサンプル書式ができあがり3回目では記入後の取り扱いを検討したので、まず書いてみようということになりました。

「これ、マイナスイメージとか要る？普通にプロフィールとかだけでいいんじゃないの？」「すみません。今回からの参加なので、よかつたらこれをどうして作ろうと思ったのか教えてください。」「はい。たぶん、どこでもそうですけれど新人さんはすでに出来上がっている集団に自ら入っていくことになりやすいですね。それが最初の頃はとても難しく感じる人もいます。少しでも話すきっかけや共感を得るために何かないだろうか？と思ったのがこれを作ろうと思った理由です。」「いきなり自分の弱いところを人に話すかなあ？」「それは、いろんな考え方があっていいですよ。知られたくない人もいますし、知っておいてほしい人や、できれば理解してほしいと思う人もいます。ですから各項目について書くかどうかは自由です。」「わかりました。確かに割って入る難しさはあるかもしれませんが、また、自分が苦手なところを知っておいて欲しいという気持ちもわかります。」「でも、これだけで十分伝わるかなあ？共通項があつたとしても仲良くなるかどうかは別の話と違う？」「それはその通りです。話すきっかけですからね。結果的にどうのではありません。結果につながる最初のきっかけになれば十分ですよ。」

お弁当作りはじめました

「火を使うと危ないから料理はしないで。」という言葉が続いてきたのでそれが当たり前だと思っていました。でも、わかごぼうの調理イベントに参加して少しずつ練習して先日一人で一皿作ることができました。みんな美味しいと言ってくれてちよつとだけ自信が付きました。そんな時、同じ作業所の子が前の日にお弁当を作って持ってきていると聞き、私もやってみようと思いい屋食代も節約したいのでお弁当作りを始めました。



お弁当のおかずのレパートリーを増やすために、オクラとベーコンを茹でてマヨネーズをかけたものをわかごぼうで試作しました。でも、マヨネーズだけだとなんか違いました。「醤油マヨにしたら？」とアドバイスを頂き、やってみると納得できる味になりました。他にも農園でとれた若ごぼうを使ったおかずや、オムレツなどいろいろなおかずを考えたりしていきます。

わかごぼう

来月はわかごぼうチラシの完成をはじめに様々な話題で話す練習をしてみる「テーマトーク」、細かい作業に挑戦してみる「ミニチュアプリン作り」、怠惰に流されている自分の身体に活を入れる「春のハイキング」などが予定されています。農園では夏野菜の種まきが行われ、その発芽を見守ります。

行きたい時が参加時。最初の半歩がここにある。八尾市社会的居場所事業わかごぼう新規参加者募集中です。

